

原田家文書

概要

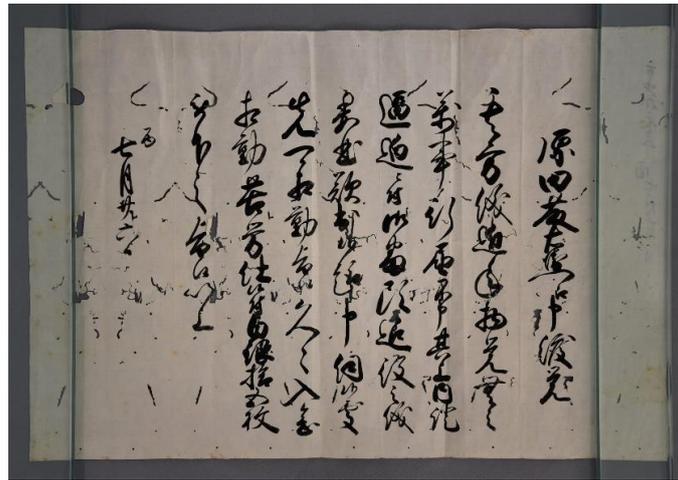
長府藩士の原田家(番頭)に伝来した文書・記録類。

伝来する文書・記録類は戦国時代から江戸時代後期が中心で、長府藩の沙汰書が半分近くを占める。

そのほか、大内氏関係の文書(写)、毛利元清・元政の書状、井伊直孝が毛利秀元に宛てた書状など多岐にわたる。

なお、元禄赤穂事件後に長府藩が赤穂浪士を預かった際の記録も含まれる。

画像



原田藤右衛門江申渡覚

製作年・時代

戦国時代～昭和期

総点数

65件68点
(うち赤穂浪士預かり関係文書7件10点)

指定

所蔵・寄託

所蔵

参考文献

備考